Shijushida dam information

南部片富士湖だより

No.238
令和8年8月25日
北上川ダム統合管理事務所
管理第二課

「第50回 北上川ゴムボート川下り大会」開催！！！



7月26日(日)、「第50回 北上川ゴムボート川下り大会」が開催されました。今年は、NPO法人北上川流域連携交流会が大会の継続を呼びかけての開催です。

前日の雨で大会中止の心配もありましたが、大会直前に雨が止んでくれたことで無事開催となりました。朝9:00、120艇(240名)の色とりどりのゴムボートが四十四田ダムからゴールの南大橋を目指して次々とスタート！参加者は息を合わせてオールで漕ぎ、約11kmのボート旅の完走を目指しました。途中の難関箇所では、「キャー」「ウォー」など、参加者の楽しそうな声が響いていました。



街の中を流れる川にカラフルなボートが見え、橋の上や河川敷からは声援を送る人の姿、まさに盛岡の夏の風物詩ともいえる光景が広がっていました。

50回という節目の大会は皆さんの笑顔と共に、無事に終了しました。











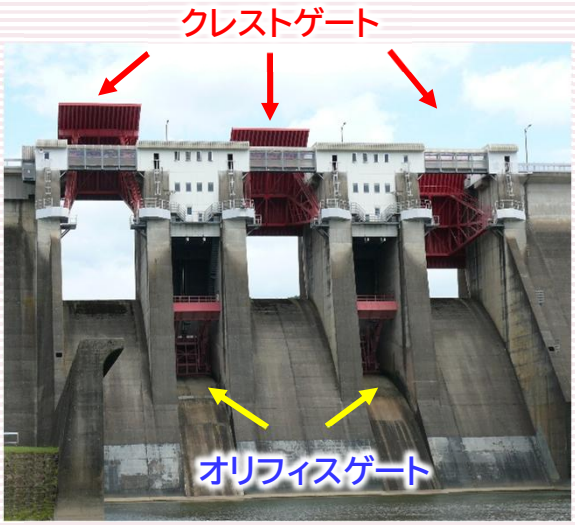




「クレストゲート」の点検を行いました

7月中旬の一週間、「クレストゲート」の点検を行いました。ダムのゲートは、放流に備えて毎年定期的に点検を行っています。点検は、一年の中で最もダムの水位が低くなる「洪水期」と呼ばれる7月～9月の間に行います。

ダムからの放流は、通常は「オリフィスゲート」2門から水を流します。少し上の「クレストゲート」3門は、とても大きな洪水がダムに流れ込んだ時に使うもので、これまで点検以外でここから放流したことはありません。





ダム湖に溜まった流木の処理を行いました

8月1日～2日にかけて降った雨の影響で、四十四田ダム湖にたくさんの流木やゴミが流れ込み、網場（あば）に溜まりました。網場は、放流ゲートに支障が出ないように、流れてきた流木やゴミを受け止める、いわばフェンスのようなものです。

網場に溜まった流木やゴミは少しずつロープで囲い、船で岸の近くまで引っ張ります。岸に寄せた後、バックホウですくい上げてトラックに積み込みます。この状態では流木もゴミもごちゃごちゃに混ざっているので、仮置き場で乾かした後、最後は人の手で種類ごとに分別して、適正に処理しています。

引き揚げたものを見てみると、木や枝の他にペットボトルや空き缶、プラスチックごみ等の様々な家庭ゴミも沢山混ざっていました。

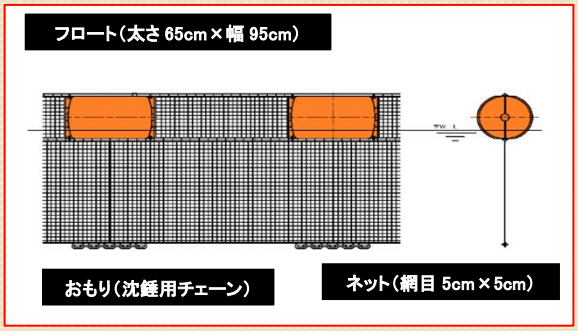








【網場（あば）】
湖面に浮かぶフロートの水面下には、約1.5mのネットがぶら下がっています。



四十四田ダムの水質（7月7日　採水）

●水温　21.7　℃　　● ｐＨ　7.4
●ＣＯＤ　3.6　mg/L　● ヒ素　0.001
（水質悪化の指標：COD 3 mg/L 以上）
※採水箇所：四十四田ダム貯水池（上層）

編集後記

まだ日中は暑い日もありますが、もうすぐ9月。朝晩は寒く感じることもあり、秋が近づいていることを実感します。

秋といえば「○○の秋」といいますが、これまでの私は専ら「食欲の秋」。今年の秋は、身体を動かす秋にしたいなと思っています。まずは、ダム周りを歩く！頑張ります。（圃）

国土交通省　東北地方整備局
北上川ダム統合管理事務所 管理第二課（四十四田ダム）
〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字四十四田１
TEL 019-643-7972　FAX 019-643-7976

ホームページ https://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/　X(旧Twitter) @mlit_kitakato　北上川 ダム　検索　ホームページ　X（旧Twitter）